

取材
de
キャッチ

西鉄バス北九州(株) 門司自動車営業所 道路を使用する企業として、道路の清掃と保安に取り組んでいます。

門司自動車営業所に所属しているバス乗務員を中心に構成された西鉄バス北九州(株)門司自動車営業所の皆さん。道路を使用する企業として、道路サポーター活動を通して道路の清掃と保安に取り組んでいます。

道路サポーターに登録して2年目、2月7日に今年度最後となる道路サポーター活動を実施しました。ゴミ袋やトンゴを手に、バス道路の両側に分かれて、田野浦バス停から清見四丁目までのゴミを拾っていきます。今回は初参加の人を含め、いつもはバスで通る道をゴミを拾いながら歩くことで、気になる凹みや亀裂など道路の異常を発見し、まちづくり整備課へと繋ぐ道路の保安管理も大切な役割としています。

勤務時間が決まっている企業とは異なり、バスの運行時間は、1年365日、朝5時から最終の24時半まで。勤務時間の違う乗務員の中から、道路サポーター活動に参加できる人員をどう確保するかが課題となっています。

活動は3か月に1回。できるだけ参加できる乗務員さんが多い日時を選んで実施しています。時間を調整して定期的にゴミを拾いながら歩くことで気づいたのは、タバコの吸い殻、缶コーヒーなどの空き缶が多いこと、最近ではマスクのポイ捨てが目につくようになりました。また、道路の形状によって落葉などゴミの貯まりやすい場所も分かってきたのだそうです。

活動を続ける中で、ゴミを拾いながら道路を歩いていると、「あっ、西鉄さんですね」「いつもありがとうございます」などと地域の方から声をかけて頂くことも多く、そういう声が届きになって「また頑張ってください」という気持ちになると話してくれました。



取材
de
キャッチ

第一生命保険株式会社北九州総合支社 目標は、細く、長く、しっかりと活動を続けていきたい。

第一生命保険株式会社北九州総合支社の皆さんによる道路サポーター活動。2月は第一水曜日が雨で順延となったため、2月14日に道路サポーター活動を行いました。社員の皆さんにとって始業前の慌ただしい時間、1階のロビーにお揃いの赤いビブスを着用した社員の皆さんが集まり、トンゴとゴミ袋を手に次々と街に出て行きました。活動時間は8時25分から8時50分、仕事前の限られた時間ではありますが手際よく道路のゴミを拾っていきます。一見、綺麗に見える街中の道路ですが、実際にゴミを拾いながら歩いてみることで、タバコの吸い殻などのゴミが多く捨てられていることに気づいたのだそうです。お揃いの赤いプロスでゴミを拾っていると地域の店の方などから「いつもありがとうございます」とうれしい声をかけてもらうこともあり、活動の励みになっています。

約40名の登録メンバーを4班に分け輪番制で活動しているのですが、担当回ではない時でも参加してくれるプラスαの有志が加わり、毎回20人程度で活動することが多いことから、この活動が社員の皆さんに定着していることがわかります。

「これからも清掃活動を続けることで少しでも街がきれいになればうれしい」と、第一生命保険株式会社北九州総合支社の道路サポーター活動はこれからも続いていきます。



No.47



北九州市 道路を愛するみなさんを応援! 道路サポーターだより

第17回 北九州市道路サポーターの会 総会開催

令和6年2月21日(水)、小倉北区のAIMビル3階G展示場で、第17回北九州市道路サポーターの会 総会が開催され、多くの方にご参加いただきました。

今年度から花苗に加え、種の配布が始まったこともあり、イベントとして別会場で種子の育て方などを紹介する花植え講習会が行われました。

総会は、主催者を代表して武内市長の挨拶に続いて、国土交通省九州地方整備局掛田北九州国道事務所長の挨拶、芳賀代表の挨拶の後、活動10年団体の表彰と国土交通省道路愛護の表彰が行われました。

その後、道路サポーター事務局から令和5年度の道路サポーターの取り組み状況についての報告があり、続いて掛田北九州国道事務所長による九州の道守活動についての紹介があり、令和5年度の新規団体紹介、令和6、7年度の新幹事紹介と続き、最後は道路サポーターの会全体の意見交換会で総会を締めくくりました。



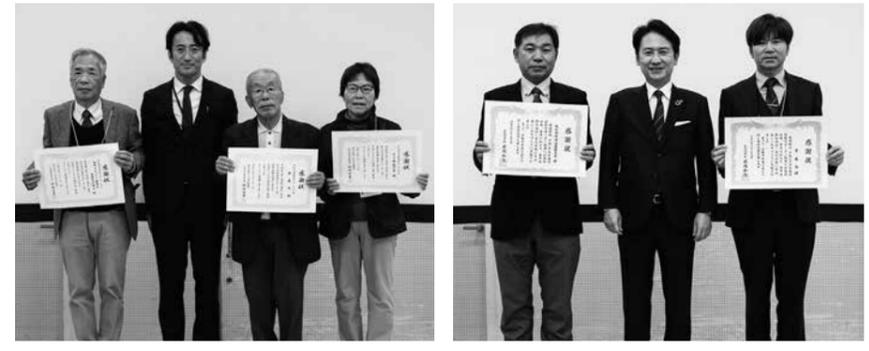
北九州市長 竹内和久



国土交通省九州地方整備局 北九州国道事務所長 掛田信男



北九州市道路サポーターの会 代表 芳賀文明



今度は皆さんの活動地域へお邪魔するかもしれません…。 ●今回ご紹介した団体へのお問い合わせは、下記事務局まで。

ホームページをご覧ください!

●北九州市道路サポーターのホームページアドレス

<http://www.road-supporter.com/>

北九州市道路サポーターのホームページは、知りたいことがすぐわかるような構成とし、活動レポートやニュースなど、「サポーターだより」でご紹介しきれない情報や各区の認定団体さんを掲載しています。「サポーターだより」ともどもご活用ください。

新規団体をご紹介いただける方、清掃や花苗・取材などについてのご相談、お問い合わせは…

[東部事務局(門司区、小倉北区、小倉南区、戸畑区)] NPO法人 ふきの会 Tel.(093)511-6700 担当:古海
[西部事務局(若松区、八幡東区、八幡西区)] NPO法人 環境ネットワーク Tel.(093)513-2651 担当:御園

【企画】 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目16-43 NPO法人 ふきの会 Tel & Fax : (093)511-6700

【発行】 北九州市 建設局 道路部 道路計画課 Tel: (093)582-3888

令和6年3月発行

花植え講習会

「種子の育て方、種子の採取、土づくり」

《講師》NPO法人環境ネットワーク 御園和穂氏

イベントとして、グリーンアドバイザーとして活動している御園和穂氏による花植え講習会が行われました。令和5年度から年に2回の花苗配布に加え種子の配布が始まったこともあり、今咲いている花の手入れから種子の育て方、種子の採取、土づくりについて教えていただきました。



昨年からの草花の手入れ

11月に植えた花苗はこれから本番。花壇の中の除草、花がら摘みを行いましょう。除草をする際には花苗と花苗の間の土を軽くほぐし、土がほぐれたら肥料を与えましょう。

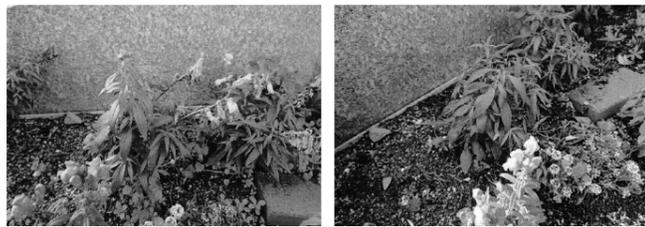
追肥:1㎡(1m×1m)に50g程度:軽く一握り程度

※粒状の肥料は、水がかかるとゆっくり溶けて効果がでる。

3月に入ると気温が上がり草花が勢いよく育ち始めるため、除草、水やり、花がら摘みの回数が増え、管理の手間が増えてくる。定期的に作業を行う。

キンギョソウやストック

随時花がら摘みを行う(種を採取する場合は放置)。枯れた花茎の下から取り除く。すでに脇芽にたくさんの蕾が付いている。枯れた茎を切ることで、切った箇所下の葉の付け根から新しい芽が伸びてくる。株を上を横に太らせながら大きくなる。6月に切戻して、夏越しができれば10月くらいから開花する。



パンジー類、デージー類

随時花がら摘みを行う(種を採取する場合は放置)。蕾がいっぱい付いており、花がら摘み(種を付けさせないように)をすることで株が大きくなる。



ナデシコ

随時花がら摘みを行う(種を採取する場合は放置)。枯れた花茎の下から取り除く。ナデシコは一度開花し、次の花を咲かせた後は、その茎からは咲かない。代わりに株元から新しい芽が伸びてくる。大きな株に育ちながら花を咲かせるタイプ。真夏を越せれば宿根草として楽しむことができる。



土づくり

令和6年度からパーク堆肥の配布量が減ります。(登録後2年以上経過した団体が対象) 助成面積30㎡を最大としてパーク堆肥の量を算出しています。最初の2年間は十分な量を配布します。その後は、土壌改良がきちんとできていれば、パーク堆肥の量も当初の半分程度で十分な土作りが出来ると思われます。※同量のパーク堆肥を混入し続けると、花壇の土は溢れてしまいます。適量で土作りを行いましょう。

【順序】花苗配布の1週間~10日くらいから準備

- ・花苗を抜き取り軽く耕す。
- ・苗の残りなどを取り除く。
- ・配布したパーク堆肥を全面に散布。
- ・その後、再度耕し、地均しをして植付け前の土作りが完了。

街路樹や植樹柵内の植付け

樹木の根は、根株の上に土をかぶせて花苗を植え付けると、根自体が上に向かって生育してくる。植樹柵から溢れてきてしまう場合もある。また根株の上に培養土をもって植付けをする場合、押さえない以上は、灌水時用水が流れてしまう。歩道や排水溝に客土が流れてしまう。これも要注意。

種まきの方法

基本!種袋を読もう

11月に、植えた花苗はこれから本番。花壇の中の除草、花がら摘みを行い、除草をする際には花苗と花苗の間の土を軽くほぐし、土がほぐれたら肥料を与えましょう。



発芽適温を合わせよう

種まきの第一関門

発芽率を高くするには、種袋に記載されている発芽適温を守ることが大切。特に直播きは温度が影響する。

種まきの第二関門

覆土の量の影響もある。薄すぎると土の表面に露出し、種が乾き枯れてしまうことがある。厚すぎる場合は、発芽した双葉が表面に出てこられずに枯れてしまうこともある。

播種前と播種後の水管理

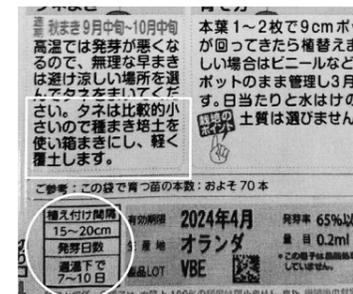
種まきの第三関門

発芽には水が必要。播種する前：水をかけ土を湿らせておく。播種後：水を与えることで種の発芽代謝が始まる。いったん発芽に向かって動き出したら水切れは禁物。発芽までは毎朝1回は水を与える。

播種から発芽までの日数:10日から2週間(目安) 発芽後、双葉・本葉と展開していく。固まって播種してしまった場合は間引きをする。土の周囲を押さえて、発芽した芽を引き抜く。

発芽のポイント

- 種袋をしっかり読む。
- ・光の有無(覆土をするか、しないか) 好光性種子か嫌光性種子かを確認する。
- ・発芽適温(土温) 20℃ 暖地なら春は4月、秋は9月下旬。 25℃ 暖地なら5月以降。
- ・覆土の厚さ 種の大きさで厚みの調整。
- ・水やり 乾燥すると枯れる。過湿になると腐る。水の勢いが強過ぎると流れたり、土の中に潜ってしまう。



今年の播種方法

基本直播きではあるが、プランターを用意して播種してみる。

■ 春からの種子(配布時期が6月上旬~)

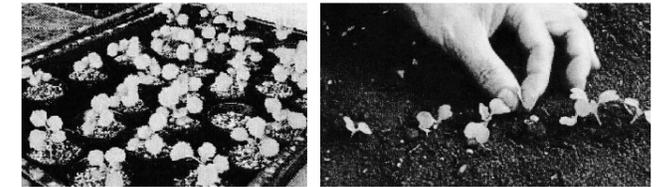
- ・草花は3~6月に播種。
- ・ヒマワリは高温種なので25℃ 直播きが基本。



■ 秋からの種子(配布時期が11月上旬~)

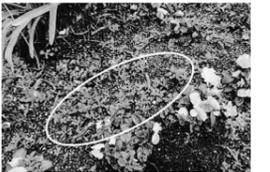
- ・11月すぐに播種する。
- ・種を残しておいて、翌年の9月上旬~10月に播種

種の保管はジッパー付きのビニール袋、もしくは封筒に入れて、種の名前と日付を書いて冷蔵庫の野菜室で保管する。



種を蒔いた翌年

昨年の春まで咲いていたノースポール。昨年の11月に夏花を抜取り、地拵え後パンジー、ビオラを植付け。今年の2月にこぼれ種によってノースポールの芽が出てきた。

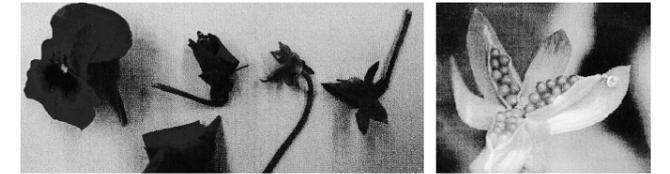


種の採取方法

種の採取をするには、花壇の一部を採取用として、花がら摘みは行わない。

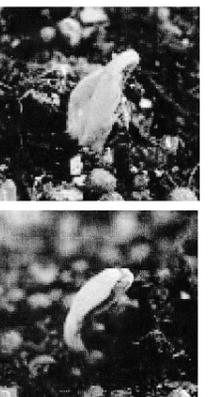
■ 春からの種子(配布時期が6月上旬~)

- ・パンジーやビオラは種をはじく。 株の周りに布などを敷いて、弾けた種をとる。
- ・キンギョソウは、花後そのままにしておくことで、花の部分が枯れて茶色になる。その後、花を摘み取り乾燥させると種がとれる。



発芽の様子

発芽したものの、外殻が付いて出てきてしまうことがある。様々な要因があるが、本来は、土から双葉が顔を出す時、双葉が覆土にこすりつけて外殻をはずすが、覆土が足りない場合や土が柔らかすぎた場合などは外殻を付けたまま出てくる。他にも発芽気温が足りない時や高すぎる時も殻を付けて出やすくなる。



令和5年度 道路サポーター取り組み状況

道路サポーターの会事務局を務める北九州市建設局道路計画課竹島課長より道路サポーターの現状報告と令和5年度に実施した取り組み、来年度以降の方針についての報告がありました。



● 団体数の推移

現在、261団体が道路サポーターとして活動!!

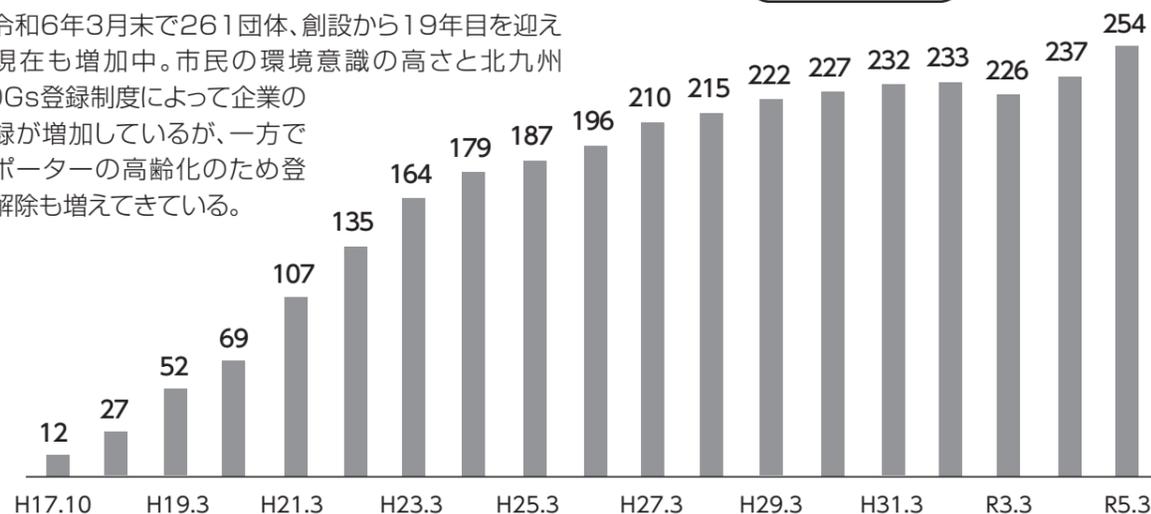
■ 創設から19年目を迎えた現在も増加中!

《要因》・市民の環境意識の高さ

・「北九州SDGs登録制度」により企業の登録が増加

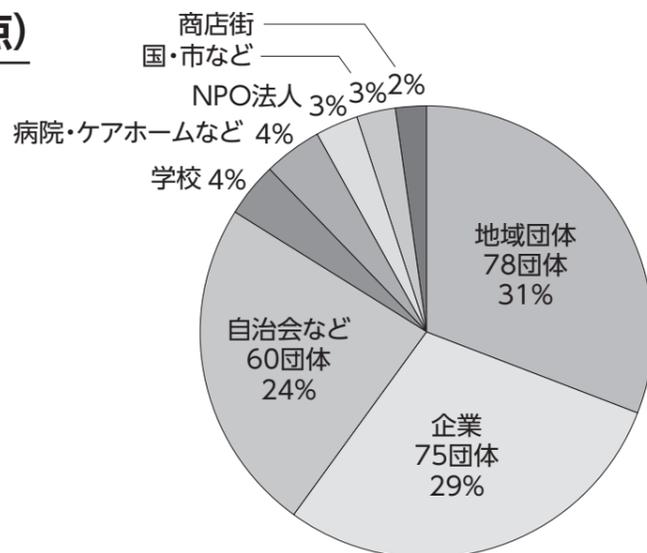
R3 10団体
R4 15団体

令和6年3月末で261団体、創設から19年目を迎えた現在も増加中。市民の環境意識の高さと北九州SDGs登録制度によって企業の登録が増加しているが、一方でサポーターの高齢化のため登録解除も増えてきている。



※一方で、サポーターの高齢化のため登録解除も増えてきている

● 登録団体の内訳 (R5.3末時点)



門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
36団体	64団体	33団体	39団体	36団体	42団体	14団体	254団体

令和5年度の主な取り組み

● 令和5年度の表彰(個人・団体)

■ 「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰

- ・宮田町1丁目自治会
- ・永西フラワーロードの会

■ 北九州市都市緑化功労者表彰

- ・そよ風花の会
- ・祝町まちづくり協議会環境美化部会

■ 道守功労者表彰(道守九州会議)

- ・木谷直記氏(小倉北区代表 木町本町町内会)

■ 活動10年団体表彰

平成25年に登録した7団体が、活動10年の表彰を受賞(認定日順)

小倉北区	藍島・馬島清掃団
若松区	若松第40区2組塩屋自治会
小倉北区	宮田町1シニアサークル
八幡西区	医療法人桜クリニック
小倉南区	寿友会
八幡東区	株式会社清水建築工業
八幡西区	風薫る街曲里ボランティア清掃の会

■ 「道路ふれあい月間」国土交通大臣表彰

令和5年度「道路ふれあい月間」表彰受賞団体(認定日順)

2017年北九州市道路サポーターの会	
小倉北区	そよ風花の会
戸畑区	戸畑けんわ病院
八幡西区	栄寿会
小倉北区	美クスタ
八幡東区	祝町まちづくり協議会環境美化部会
小倉北区	黒住一自治区会

道路サポーターと連携した取り組み

市制60周年事業に合わせた花植え活動

イベント会場周辺で小倉北区の道路サポーターの協力を得て、市制60周年事業に合わせた花植え活動を実施しました。10月の都市緑化月間の取組みの一環として、小倉駅周辺や「平成中村座小倉城公演」が開催される勝山公園付近など3か所で花植えを行い、美しいまちづくりを進めている北九州市のさらなる魅力アップに貢献しました。

●小倉駅北口ペDESTリアンデッキ

10月7日に西日本総合展示場新館で開催されたファッションイベント「TGC KITAKYUSHU 2023」の開催を間近に控えた10月5日木曜日、TGC会場となる西日本総合展示場新館への通り道、小倉駅北口ペDESTリアンデッキの両サイドに置かれたフラワーポットに花植えを行いました。

参加したのは、「学習センター 小倉キャンパス」「宝来橋通り振興会」「室町一丁目町内会」の3団体の皆さん。「宝来橋通り振興会」「室町一丁目町内会」の皆さんは花植えのベテランですが、「学習センター 小倉キャンパス」の学生さんたちは、いつもは小倉駅周辺の清掃活動をしており、ほとんどの方が花植え経験なしという状態で花植えがスタート。「バランスをとりながら植えてください」というアドバイスを聞きながら初めての花植えに挑戦しました。

頑張って花を植えた後、自分たちが植えたフラワーポットに団体名を書いたプレートを立てて花植えは終了。参加者からは「実際にやってみたら難しかった」「機会があればまたやってみたい」という声が聞かれました。

●小倉駅南口ペDESTリアンデッキ

いつも多くの人が行き交う小倉駅南口のペDESTリアンデッキ。10月5日木曜日、小倉中央商店街アーケード方面へと向かう小倉駅南口ペDESTリアンデッキで花植えを行いました。参加者は「空港小倉東ロータリー会」の皆さん。いつも北九州空港で花植えを行っている参加者の皆さんは慣れた手つきで次々とフラワーポットに花を植えていき、あっという間に作業は終了、花植え経験の豊富な道路サポーターならではの力を発揮してくれました。

「いつも駅のホテルで例会をしているし、小倉駅周辺の清掃もしているので、多くの人で賑わうこの辺りが自分たちの植えた花によってさらにきれいになればうれしい」と話してくれました。

数多くのイベントが開催される秋、市内外からの来訪者が数多く集まる街なかで行われた道路サポーターの皆さんによる美しい花によるおもてなし。きっと訪れた人たちの目とココロを楽しませてくれるに違いありません。

●勝山公園大芝生広場(太陽の橋付近)

小倉北区勝山公園では11月1日から「北九州市制60周年 平成中村座小倉城公演」が開催され多くの人を訪れます。この場所を訪れた人たちを美しい花でおもてなししようと、10月12日木曜日、開催に向けて特設会場の建設が進められている勝山公園大芝生広場の太陽の橋付近でフラワーポットへの花植えを行いました。

参加したのは「木町本町町内会」「瑞穂寿会」「西紺一道路サポーターの会」道路サポーター3団体の皆さんと、応援ボランティアとして参加してくれた「周望学舎ボランティアグループ」の皆さん。花植え経験豊富な皆さんによって手際よく作業が進められ、短い時間でフラワーポットがきれいな花で彩られました。参加者からは「もっとたくさん植えたかった」「土もいし花の種類も豊富で楽しかった」「団体名を書いたプレートを立てたので、きれいに咲いているかを観に来たい」という声がありました。

紫川にかかる太陽の橋を渡って勝山公園へと向かう道、色とりどりの花のおもてなしでいつもの風景にさらなる美しさをプラスしました。



新規登録団体の増加に向けた取り組み

■登録要件の緩和(令和5年10月1日から)

新たな団体が加入しやすくなるよう、団体人数に関する要件を見直し

《変更前》
10人以上

《変更後》
5人以上

■オンライン登録申請の開始(令和5年10月1日から)

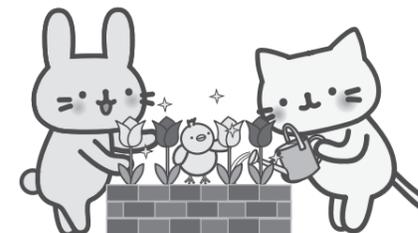
若年層や企業にとって文書での申請手続きが負担になっている
→オンライン化により24時間どこからでも申請可能に!



オンライン申請フォーム

早速効果を発揮!

約4か月で**5団体**が新規登録



PR活動

■エコライフステージ2023

令和5年11月11日(土)~12日(日)北九州市役所周辺で開催されたエコライフステージ2023に参加し、道路サポーターに関するパネル展示やクイズラリーを実施!約1000名もの方にお越しいただき、北九州市道路サポーター制度をPRしました。



■自治区会長会議で宣伝

全区の自治区会長会議に参加し制度をPR!

■回覧板で周知(今後)

チラシを作成し、市内全域の回覧板で制度を周知



区会の開催結果

■令和5年度道路サポーターの会 第1回区会

令和5年12月に全区で区会を開催。

主な議題は役員改選、バーク堆肥の配布量見直しで、意見交換では様々な意見が出されました。

●PR方法・PR先

・市民に道路サポーターの仕組みを伝えるため、PR看板を設置する。

●市の支援内容の改善

・夏場の水やりは回数も水量も必要であり、かなり大変なため、乾燥に強い花を支給してほしい。
・バーク堆肥は20kg/袋は重すぎるため、10kg/袋にしてほしい。

●バーク堆肥の配布量見直し

・登録後2年を経過した団体が新たに花壇を作る場合は、別途考慮が必要。
・その他には特に意見無し

●その他の意見

・活動報告書、活動計画書をオンラインで提出できるようにしてほしい。
⇒電子メールでも提出可能です。今年度の提出依頼に併せて案内します。

区会のご意見を踏まえた今後の方針

■ バーク堆肥の配布量

これまでに実施して頂いた土作りによって、既に花植えに適した土壌が形成されている箇所については、現在のバーク堆肥の配布量基準は過大であるため、配布量を見直します。



■ 花苗の種類追加

夏場の水やりが負担になっているとの声を多数いただいており、乾燥に強い花を新たにリストに追加します。

品種：ガザニア

時期：令和6年度の1回目支給から



■ PR看板を設置 (縦40cm×横60cm)

設置場所(案)：駅前通りなどの人通りの多い路線、通学路



九州の道守活動紹介

国土交通省九州地方整備局掛田北九州国道事務所長から九州の道守活動について紹介がありました。

道守とは

道守とは道の番人。道守九州会議では道守の定義を次のように定めています。

道守とは、道にかかわる様々な調査研究、啓発活動や清掃美化、点検通報などのボランティア活動ならびに道を守り、育てる規範意識のことで、様々な活動を実践される方を道守という。私たちは古代の「道守」の心を温め、現在という新しい時代の暮らしの中から「道」をみつめ、「道守」の心を継承・発展しようと想うものです。

道守九州会議は各県にブロック単位で道守県会議を組織し、それぞれの活動を行いながら、連携と意見交換を行っています。道守九州会議の活動人数は全体で約45,000人。この中で北九州市道路サポーターの会の会員数が9,000人強ということで、九州全体の約2割をこの北九州市道路サポーターの会の皆さんが占めている。皆様方の活動がある意味道守九州会議の代表的な活動であろうと感じています。

他の地域の道守活動

他の地域でも様々な活動が行われています。他の団体と連携して清掃活動を行ったり、ひな祭りやマラソンなどのイベントに合わせて活動したり事例も多くなっています。大分県では道の駅、日本風景街道、道守九州会議の3つの団体が一緒に取り組むことで、同じフィールドで相乗効果が期待できるということで3つの輪の連携をメインに取り組んでいます。

みちづくしin竹田2023

昨年の10月27日と28日、大分県竹田市で「みちづくしin竹田2023」が開催され九州全体から多くの方々が集いました。みちづくしのテーマは「花咲くたけた〜3つの輪〜これまでこれから」。初日はいろんな団体の意見発表と紹介、交流、次の日は道にかかわるいろいろな史跡などを一緒に観て、その地域の道の魅力を発見するなど、他の地域を知るいい機会となりました。



令和5年度新規登録団体

小倉北区	片野四町内会
八幡西区	下上津役ガーデン倶楽部
小倉南区	ツツイ小倉南方
小倉南区	平尾台入口を綺麗にする会
戸畑区	産機エンジニアリング株式会社
小倉南区	バラを愛でる会
小倉北区	特定非営利法人抱樸・きぼうのたまご委員会
戸畑区	一般社団法人日本貨物検査協会 八幡事務所
八幡西区	庭の小人
八幡西区	丸尾自治町会
八幡西区	日吉台明朝会
小倉北区	田町クワークラブ
小倉北区	株式会社荻蔦 北九州支店
若松区	電源開発株式会社 若松総合事業所

令和6、7年度 幹事及び副幹事

区	幹事	副幹事
門司区	NPO 法人門司港レトロ花の会 北里 幸良さん	黄金町ビューティフル・クラブ 中井 黄美男さん
小倉北区	木町本町町内会 木谷 直記さん	馬六フラワー会 児玉 國廣さん
小倉南区	長尾校区まちづくり協議会 吉本 保さん	葛原第二道路サポーターの会 則松 富子さん
若松区	日本鉄塔工業株式会社 磯野 敏秀さん	若松1区青々会 渡邊 清子さん
八幡東区	河内さくら公園愛護会 木原 大助さん	やまぼうし会 宮地 久男さん
八幡西区	有限会社 本城葬祭 福田 学さん	井樋口町内会 鈴嶋 幸雄さん
戸畑区	さやふく環境サポーター 佐々木 憲一郎さん	私たちの未来環境プロジェクト 池本 真一さん

意見交換会

NPO法人環境ネットワークの藤田氏が進行を務め、道路サポーター活動に関する意見交換会が行われました。

■夏に強い花としてガザニアを頂けるといことだが、育った場合繁殖力が強いのでガザニアだらけになってしまう、他の花を植えるスペースがなくなりそうで心配している。

【環境ネットワーク】

ガザニアに関しては割り切って切る、他の場所に植えるなどの発想をした方がいい。ガザニアが増えることを良しと考え、他の場所に植えるとか、場合によっては広がらないように切って終わらせる、そう考えた方がいいと思う。 補足すると、ガザニアは自分以外の植物の発芽を阻害するアレロパシーという物質を出します。たとえば稲刈りが終わった水田が一面レンゲ畑となっているのは、レンゲが他の植物の発芽を邪魔する物質をだしているから。植物に必要な栄養素チッソ、リン、カリウム、レンゲはチッソを多く持っており、花を楽しんだ後にそれをすき込んで、次の栽培の肥料にする。国土交通省では草を生やさないとということで、試験的にガザニアを植えている例もある。ただし、ガザニアが全ての雑草を抑える訳ではない。

■その分、他の花の供給量は減るのか。

【北九州市道路計画課】

時期になったら花のリストを皆さんに送って、その中から選んでもらっている。そのリストの候補の1つにガザニアを入れるということなので、希望しない場合は他の花を選んで頂いて大丈夫です。

■2年ほど前に改めて道路サポーターに登録した。そのきっかけが、それまで歩道に街路樹として桜を植えていたが枯れてしまったこと。土を調べてみると桜の育成には適さない土であることが分かり、そこにはもう桜を植えられないということで花植えを始めた。

周りを観るといろいろな場所で、歩道の街路樹のマスにいつの間にか木がなくなり、そこにアスファルトのフタをしているところが多く観られるようになった。街路樹をどのような扱いにされているのかを伺いたい。



【北九州市道路計画課】

市としては緑の街路樹を大切にしたいという思いはあるが、街路樹の状態が悪くなった場合などに、植え替えをせずに舗装していくようなこともある。歩道が狭い部分があった場合はやむを得ず埋めてしまう場合もある。また雑草が伸びすぎて見通しが悪く危ない場合は舗装をかけることもあるなど、その場所に依って対策をしている。現地に入った対応をしていきたいと考えている。

【環境ネットワーク】

台風や強風による倒木が増えている。樹木は外から観ても、中が腐っているのが健全なのか分からない。これに関しては国土交通省も北九州市も、樹木医などの専門家に依頼して調査を実施している。特に道路と学校関係はかなり重きをおいてやっている。

■道路サポーターの看板は、道路サポーターが花植えなどをしている場所以外にも設置できるのか。

【環境ネットワーク】

皆さんの団体名が入っているプレートは皆さんの活動範囲内に設置する。それとは別に、今後新たに「皆さんも道路サポーターの活動をしませんか」という呼びかけの看板を、活動がまだされていない人通りの多い場所に今後設置する予定となっている。

■河内の桜公園で活動しているが、今、てんぐ巣病が蔓延しており、頑張って切っはいるが、上の高いところは切れない。このままでは全部咲かなくなってしまいそうで、早めに手を打つ必要がある。

【環境ネットワーク】

てんぐ巣病は私の知る限り治療法がない。葉が効かないので基本的に切る。市の建設局に電話をするか、市の公園担当の部署に相談を。

■私たちの町内は小学校、体育館、野球場など公共施設に囲まれている。その街路樹の落葉が大量に落ちて清掃が大変。街路樹の剪定をお願いしても、大通りだけの剪定で、それ以外は選定されない。

【北九州市道路計画課】

市では大きい通りでは定期的に剪定を行っている。落葉が大変なのは分かるので、区役所のまちづくり整備課に相談を。

【環境ネットワーク】

北九州市は全国的にみても、街路樹の計画的な維持管理をしている。道路の幅員を基本にどこまで大きく育てていくか、どこまで幅を広げていくかを方程式で出している。

令和5年度 道路サポーターの会 第1回区会を開催

令和5年12月、各区で区会が開催されました。役員改選、パーク堆肥の配布量見直しなどを主な議題とし、意見交換を行いました。

門司区

【日時】令和5年12月14日(木)●13:30~14:30 【会場】門司区役所 2F 第2会議室

出席団体 (代表) 北里 幸良 (門司港レトロ花の会) (副代表) 中井 黄美男 (黄金町ビューティフル・クラブ)
門司港レトロ花の会、黄金町ビューティフル・クラブ、グリーンと仲よしクラブ、インクル門司港、
ヤナイ地域清掃隊、株式会社ツネミ

- 新しいところは現状に近い量が配布されるということなので、それでいいと思う。区会に来ていない人に連絡して了承してもらえればそれでいい。
- 道路の植栽が高すぎて交通事故があった。横断歩道を渡らずに植栽の間から飛び出した方が悪いが、車を運転していると植栽が高すぎて見にくいことがある。
- 道路サポーターの仕組みがよく分からないと言われることが多い。道路サポーターの仕組みについて説明した看板を作って設置してほしい。



小倉北区

【日時】令和5年12月20日(水)●14:00~15:00 【会場】小倉北区役所 東棟5F 大会議室

出席団体 (代表) 木谷 直記(木町本町町内会)
木町本町町内会、三郎丸四町内フローバーの会、西紺一道路サポーターの会、萩崎花壇の会、
九州電力株式会社 北九州支店営業部、宮田町1丁目自治会、藍島・馬島清掃団、宮田町1シニアサークル、
そよ風花の会、第一生命保険株式会社北九州総合支社、バラを愛でる会、特定非営利活動法人抱樸・
さぼうのたまご委員会

- 街路樹の根元に花を植えているが、土のかさをパーク堆肥で補っている部分があるので、パーク堆肥の量を減らすことには反対。
- ボランティア袋がすぐに破れて困っている。切った枝葉などを入れようとするとすぐに破れてしまう。重ねても破れる。
- パーク堆肥の入った袋が重くて持ち上げにくい。
- 公共施設に囲まれたエリアで街路樹の落葉の清掃に苦労している。街路樹の枝の剪定がされていないため、清掃しても追いつかない。



小倉南区

【日時】令和5年12月14日(火)●10:30~11:30 【会場】小倉南区役所 4F特B会議室

出席団体 (代表) 吉本 保 (長尾校区まちづくり協議会)
長尾校区まちづくり協議会、希望ヶ丘道路愛護会、寿友会、久一建設株式会社、平尾台入口を綺麗にする会

- 1年間の活動実績がないと散水栓の設置ができない。冬の時期はなんとかなりそうだが、夏になると土壌が真砂土とで水持ちが悪い。今は花壇の横の家の人が毎日水やりをしてくれ、個人で水道代を負担してもらっている。何とかしたいが規定で決まっているのでどうしようもないのか。
- 水やりの大変さを考えると、水に強い植物を選んで配布すれば少しはいいのではないか。
- ガゼニアがあまり手入れをしなくても育つと聞いたが、花苗配布のリストにガゼニアは入っていない。そういった種類の花苗をリストに加えてもらえれば、水やりの負担も少しは軽減されるのではないか。



八幡東区

【日時】令和5年12月21日(木)●10:00~11:00 【会場】八幡東区役所 本館2階 21会議室

出席団体 (代表) 芳賀 文明 (枝光北まちづくり協議会) (副代表) 大平 京子 (山路松尾町年長者の会)
枝光北まちづくり協議会、山路松尾町年長者の会、果樹支え隊、やまぼうし会、株式会社奥村組九州支店、
祝町まちづくり協議会環境美化部会、河内さくら公園愛護会、NPO法人 わくわく

- 河内の桜は30年以上前に植樹されたもので、テングス病が多く発生し、手の届く範囲で切除はしているが高所はできずに困っている。
- 道路サポーターの作業範囲に排水溝の清掃も含まれるのか。
- 高齢化し活動メンバーが減り、募集しても集まらない。みなさんはどうしているのか。



八幡西区

【日時】令和5年12月20日(水)●10:00~11:00 【会場】八幡西区役所 6階 602号会議室

出席団体 (代表) 福田 学 (有限会社 本城葬祭)
有限会社本城葬祭、ボランティアすまいる、健福会、みちピカ穴生、宿場通り藤田、永西フラワーロードの会、
黒崎宿藤田代官通り会、日の峯キレイ隊、花咲く街4丁目穴生・曲里の松並木を愛する会・鳴玉まちづくり協議会・
綺麗な花を眺め隊、藤原自治会道路美化グループ、塔野まち協花咲ポットクラブ、茶屋の原団地自治会区、
庭の小人、花咲くまちづくり穴生

- プランターで花植えをしているが、古くなった土の処分に困っている。ボランティア袋に入れて可燃ごみの日に置いたが回収されなかった。
- 種から育てているが発芽しない。育て方を指導してほしい。
- カラスに荒らされるため、箱型のゴミステーションを設置したい。
- 道路破損箇所を市民通報システムで写真と一緒に送ったが返事がない。



若松区

【日時】令和5年12月12日(火)●10:00~11:30 【会場】若松区役所 西棟3階特別会議室B

出席団体 (代表) 渡辺 清子 (若松1区青々会) (副代表) 花村 嘉男 (深町桜会)
若松1区自治会/若松1区青々会、深町桜会、おあざ清掃の会、日本鉄塔工業株式会社、
青葉にこここ緑地隊、鷗田組合(第28区12組)

- 花植えの日の予定を会員さんに周知すれば、皆さん集まると思う。水やりに関しては花プランター前のお宅をお願いしたことがあるが水道代が問題。また距離が長くホースが届かないので、台車にバケツを乗せて何往復もしている。散水栓やホースの問題がある。



戸畑区

【日時】令和5年12月13日(水)●14:00~15:00 【会場】戸畑区役所 3F 31会議室

出席団体 (代表) 佐々木 憲一 郎 (さやふく環境サポーター) (副代表) 池本 真一 (私たちの未来環境プロジェクト)
さやふく環境サポーター、私たちの未来環境プロジェクト、戸畑浅生通り振興会、浅生まちづくり協議会、
一般社団法人日本貨物検査協会

- パーク堆肥については、私のところは範囲が広いのでもらった量を全部使っていて、全然足りないのが現状だ。
- 花苗の配布が3回から2回になったが、希望すれば3回という訳にはいかないのか。11月から夏まで間が空きすぎると思う。
- やはり水やりにも苦労している。花壇が会社の前ではなく、範囲が広いので車で水を運んだり水の量が結構多いし、回数も多い。



団体交流掲示板

~この道では、どんな皆さんが活動しているの?~

身近なところで、いきいきと活動を継続している団体の皆さん。
それぞれのちょっとした工夫やアイデアが、
これからの活動のヒントになるかもしれません。



もしかしたら、こちらの団体さんって
私たちのすぐ近くかもMAP

取材
de
キャッチ

日本鉄塔工業株式会社

清掃活動を続けて地域との連携を深め、まちづくりにも貢献したい。

戸畑区から若松区へ、若戸トンネルを通り抜け最初の信号機を左折すると左手に大きな工場が見えてきます。ここが日本鉄塔工業(株)です。

工場は、工場地域に位置しますが、近隣には病院や住宅・商店もあることから、「地域の方々にも貢献出来れば」と平成27年8月に清掃団体として道路サポーターに登録されました。

月2回、職員の方が当番制で幹線道路沿い延長800m程の歩道清掃を行っています。当初は投げ捨ての缶、タバコの吸い殻、菓子袋などが多かったようですが、現在ではポイ捨てのゴミも減ってきたとのこと。

また、海外からの研修生も清掃活動に参加することで、「清々しい気分になる」という声も上がっているそうです。



取材
de
キャッチ

健福会

「健康と福祉」から文字をとって健福会、身体が元気なうちは清掃活動を続けたい。

2004年4月1日に「健康と福祉」の勉強を共にしていた仲間と当ボランティアグループを発足されました。そして今年の3月末で活動開始から丸20年を迎えられます。

当初はボランティアとして八幡西区の穴生学舎と穴生ドーム周辺の清掃活動を行われてきました。その年の7月に「道路サポーター制度」を紹介され直ぐに入会を申し込み、認定を受けて道路サポーターとしての活動を開始されました。

団体名は「健康と福祉」から文字を取って「健福会」と命名されたそうです。

活動は月2回。第1と第3水曜日に穴生学舎・ドーム周辺の清掃活動を実施されています。

活動を始めた頃は、歩道やバス停の周辺を清掃しても、飲み物の空き缶やタバコの吸い殻が減ることはなくご苦労されたそうです。永年地道に活動を続けることで近隣の方の理解を得られたようで徐々にゴミが減ってきたそうです。

合わせて、缶のプルタブを集める運動を始め、施設内に回収容器を設置することで「ポイ捨てが減る」効果があったそうです。

プルタブを大量に集めることで「車いす」に換えることができ、すでに数十台の車いすを各施設に寄贈されたそうです。

当初は20名いた仲間も現在は5名とのこと。

高齢化が進み、ボランティアの呼びかけをしても新たな仲間が増えないのが現状だと嘆いておられました。

活動開始時から歩道清掃並びに道路・歩道の点検も行われてます。

活動人数が減っても「身体が元気なうちは清掃活動を続けたい。」と、素敵な笑顔で話してくださいました。

